



本堂の前の梅が咲き、クスノキが葉を落とし始めると
“春が来たなあ”と感じます。皆様はどんな時に春を感じますか？

住職の一言

野に咲く花のように風に吹かれて

野に咲く花のように人を爽やかにして

そんな風にぼく達も

いきでゆけたらすばらしい

時には暗い人生も

トンネルぬければ夏の海

そんな時こそ野の花の

けなげな心を知るのです

野に咲く花のように雨にうたれて

野に咲く花のように人を和やかにして

そんな風にぼく達も

生きてゆけたらすばらしい

時にはつらい人生も

雨のちくもりで また晴れる

そんな時こそ野の花の

けなげな心を知るのです

皆さんご存知、ドラマ『裸の大将』の主題歌です。

私は少年時代、この番組が大好きでした。心があたたまるお話ばかりでした。お話の内容にマッチしたこの歌も好きで、花を見ると、今でもついつい口ずさんでしまいます。歌っていると次第に心が安らかになり、正しい生き方を思い出します。ときには元気ももらえます。歌詩が素晴らしいのです。

野に咲く花のように、慈悲心・柔軟心をもって生きたいものです。

合掌



阿部雄峰

ブツダの言葉

心の汚れを捨てていない人が、
黄褐色の法衣をまとって

自制しようとしなければ、
法衣にはふさわしくない。『法句経』

心に煩惱(貪り・怒り・愚かさ)をもっている人が、黄褐色の法衣をまとって、自分自身を正そうとしないのであれば、法衣にはふさわしくないといわれています。

法衣(袈裟)が黄褐色なのはちゃんと意味があります。植物は枯れていくと黄褐色になっていきます。同じように白い着物も長く着ていけば黄褐色になっていきます。そのようにすべては枯れ老いて滅びていくことを表しており、お釈迦様の教えである、空(縁起、無常)を常に自覚するために黄褐色の法衣を着けるのです。

縁起(関わりあいにより存在できる)を自覚すれば、悪をなさず、善いことを行なわなければならぬという気持ちが出てきますし、無常(いつか滅する)を自覚すれば、自他を大切にしようという気持ちが出てくるからです。そのようであるから、黄褐色の袈裟は着ける者を清く正しく生

かしてくる大変有難いものなのです。そのような有り難い袈裟を着ていても、心が俗世の汚れ(煩惱)に満ちていていかならば、それは自分や他人を欺いていることになりません。そのような者は、袈裟を着るのにふさわしいとはいえない、とお釈迦様はいわれています。

この言葉から、お釈迦様がおられた時代であっても、僧侶らしからぬ僧侶がいたということがわかるわけですが、現代の僧侶は特に肝に銘じなければならぬ言葉だと思います。それは現代の僧侶は、お釈迦様の時代よりも俗世に近い生活をしているからです。

ただし、この言葉は僧侶に限った言葉ではないのです。ここでは僧侶と袈裟について言われていますが、これは一つの譬えであり、誰に対してもいえる言葉なのです。一般の方であっても、高価で立派な袈裟を身に着けたがるものです。

高価で立派な袈裟というのは、会社や組織の名前、肩書、学歴、という立派な袈裟です。人に認めてもらいたい、注目して欲しいから着けるのです。自分の実力のなさを隠すために、着けるのです。本当に実力のある人、人徳のある人は、立派な袈裟を着けなくとも、周りに認められ、注目されるものです。肩書と中

身の自分とのあいだに大きな隔たりがあれば、他を欺き、自分をごまかしていることになります。

そして私たちはその立派な袈裟にだまされやすいのです。金ピカの袈裟をつけた僧侶、大会社の社長、一流大学の教授と名乗ると立派な人格者と思ってしまう。しかし、それらは、所詮は外身であり、中身はどうかわかりません。

人間に本当に必要なのは、心の清らかさです。心の清らかさとは、貪り・怒り・愚かさなどで心が汚れていないことです。お釈迦様は、この言葉をとおして、自分自身を顧みる、いい機会を私たちに提供しているように思われます。特に今月はお釈迦様の誕生月です。お釈迦様の教えをしっかりと生きましよう。



彼岸会おつかれさまでした

三月十七日に春季彼岸会を行いました。

延命寺では初めての行事なのでどれくらいの方が参加されるのか少々心配をしておりましたが、天気の悪い中多くの方がご参加くださり、無事に法要を終えることができました。皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。



風鈴供養受付開始

今年も六月一日から九月の彼岸明けまで風鈴供養を行います。

本堂に戒名を書いた風鈴をつるし、毎朝の朝課で戒名を読み上げ供養いたします。今月から受付を開始しますので、戒名をご用意の上、お電話下さい。供養料はお寺にお持ちいただくか、お送りいただいても結構です。

昨年同様、八月の盆施食会でも受付しております。



《受付期間》

四月～九月の彼岸明けまで

《供養料》

一霊につき 金千円

新盆は無料(申し込み不要)

永代納骨堂の受付開始

ただいま建設中の永代納骨堂の予約受付を今月から開始します。既に多くのお問い合わせをいただいておりますが、詳細を知りたい方には資料をお渡ししますのでお気軽にご連絡ください。

また、お墓のことでお困りのことがありましたらご遠慮なくご相談ください。納骨堂の完成は六月末を予定しております。



弘法堂を増改築中

精進ごはんレシピ



山菜の香りの女王
こしあぶらの炊き
込みご飯です。

【こしあぶらご飯】

材料(4人分)

米2合 こしあぶら 60g 醤油大さじ2 塩小さじ1 昆布 10cm

作り方

- ① こしあぶらは長ければ2つに切り、醤油につけて20分おく。
- ② といだお米にこしあぶらをつけておいた醤油と塩を加えてから水加減をし、こしあぶらと昆布を乗せて炊く。
- ③ 炊き上がったら混ぜる。



お知らせ・募集

◆お地藏さま作りの会 今年度メンバー募集

今月からまたお地藏さまのお守りを作るボランティアの会がスタートします。物づくりの好きな方ならどなたでも大歓迎です。一つ一つ心を込めて作り、それが誰かのお守りとなる。そんな素敵な経験をしてみませんか。

(活動日) 毎月第四土曜日(初回は四月二十七日)
午後一時〜午後三時頃

◆寺子屋講座「心が晴れる法話と写経」

(開講日) 毎月第三土曜日
午後一時〜午後三時半
(受講料) 初回千五百円、二回目以降千円
子供無料

お経についての法話、簡単なイス坐禅、写経。
子供は写仏。

編集後記

最近の住職の趣味は、仏画です。
今は干支の守護仏を描いており、三枚の絵(文殊菩薩・普賢菩薩・大日如来)は完成し、本堂内に飾ってあります。あとの五枚は年末までに完成させる予定です。
お寺に來られた際には、ぜひ自分の守護仏を探してみてください。

青林山 延命寺

☎ : 490-1115 愛知県あま市坂牧郷 30

☎ : 052-444-0109 住職携帯 080-4217-0826

※月参り・命日のお参りなど随時受け付けております。

<http://www.seirinzan.com> 検索は青林山延命寺